

50th Anniversary
OSAKA SANGYO UNIVERSITY

SCHOOL
JURIDICAL PERSON
OSAKA
SANGYO
UNIVERSITY

学園ニューズレター
[ネオス] 特別号
開学50周年記念特集
2015(平成27)年11月発行

発行元: 学校法人大阪産業大学
総合企画室 学園広報課
〒574-8530 大阪府大東市
中垣内3丁目1番1号
TEL: 072-875-3001(代)
<http://www.osaka-sandai.ac.jp>

大阪産業大学は「あらたな一歩」をふみだします

1965

2015

文理シナジーを両輪に、 バランスのとれた人間力で 明日の産業界を担う人材を育成します。

大阪産業大学は4年制の総合大学として開学50周年を迎えることができました。これもひとえに、8万5000人余の卒業生の皆様、教育行政のご指導、そして地元の皆様によるご支援の賜物と深く感謝いたしております。

本学のルーツは昭和3年(1928)に大阪市内において瀬島源三郎が大阪鉄道学校を設立したのが始まりです。その後、大阪交通大学、大阪産業大学と改称。工学部および経営学部という文理を両輪に、交通産業界を中心に時代に即した有能な人材を輩出し続けてきました。本学がさらに、80周年、100周年と産業界が望む人材を育成していくためにも、開学50周年をひとつの節目として、さまざまな改革の「新たな一歩」をふみだしてまいります。

大阪産業大学学長 金澤 成保



学部改組

50周年を機に 「新たな一歩」をふみだす。

産業構造や社会の変化に伴い、大学の在り方にも大きな変化が求められています。本学においても、平成29年度を目途に学部学科を再編。「健康」「国際」「環境」をテーマに、時代のニーズを捉えた学びの充実をはかっていきます。さらに、教養部を改組し、学科の責任で4年間一貫教育していく体制を整え、少人数制のゼミを導入するなど学生との接点を広げることで離学者問題の改善にも取り組みます。

意識改革

頭脳も筋肉と同じ。鍛えるほどに 学びの意欲は増幅する。

頭脳は筋肉と同じです。鍛えれば鍛えるほど知識量は増大し、能力は限界を超えていきます。しかし、学生は自分で自分の限界を決め、できなければすぐに投げ出してしまいがちです。1カ月でできなければ、1年かけてできるようにしようとする「忍耐力」と「継続力」こそが学びの基本。そのため、1・2年次に基礎学力を高めるリメディアル科目や社会人として活躍する心構え、学ぶ意義を考える授業を導入。学びの意欲を高める意識改革に取り組んでいきます。

学びの環境改善

おもしろくなければ教育ではない。 やる気を維持できなければ 4年間は続かない。

大学があつて、学生がいるのではなく、学生がいるからこそ、大学はあります。本学は約1万人の学生が4年間の生活を送る小さな“街”です。学生が楽しく生活するためには、施設に、学びに、オフタイムに、本学ならではの特色をつくっていかなければなりません。そのひとつが「プロジェクト共育」であり、「地域連携の推進」です。さらに、健康・スポーツにも力点を置き、スポーツ施設の整備・充実にも特色を持たせていこうと考えています。

50周年は学生に愛される新しいOSUへの通過点です。



学校法人
大阪産業大学
理事長 土肥 孝治

開学50周年、誠におめでとうございます。大阪産業大学は50年の時を経て、現在の総合大学に発展しました。振り返れば、諸事順調に進展する時代もあれば、多事多難の時代もありました。紆余曲折を経ましたが、50周年記念式典を盛大裡に迎える事ができたのは、ひとえに大阪産業大学に関わられた先人のご努力、また現在の大学を運営する教職員ひとり一人のご尽力に依るところが大であり、まずは、そのご功績に感謝の意を表したいと思います。

また、将来に目を向ければ、現在金澤学長の下で学部・学科再編の計画が進んでおりますが、こういった改革を足がかりに、大阪産業大学は新たな一歩をふみ出そうとしております。一朝一夕に物事は進みませんが、輝かしい伝統と新しい風を融和させて、より良い反応を起こし、この度の50周年を機に新たな大阪産業大学を打ち出していきたいと

思っております。

そこで第一に考えたい事は、大阪産業大学の主人公は学生だという事です。大学Webサイトもリニューアルされ「ニュース&TOPICS」では、日々、学生の活躍が紹介されております。これら学生の活躍を後押しすべく、我々教職員は支援する力を緩める事無く、これからも学生に愛される大学を築いてゆきたいと思います。

50周年はあくまで通過点であり、これから大阪産業大学は80周年、100周年を視野に入れ、長期戦略を立てて活動していかねばなりません。今後とも、学生はもとより教職員の皆様のご活躍を祈念し、弊職としましては是非発展への道のりを共に歩みたいと思っております。くれぐれも学生、保護者、教職員が丸となって、より良い方向に進んで行くことを強く望んでおります。

まずは目の前の 「新たな一歩」を着実に。



大阪産業大学
校友会
会長 小泉 廣美

開学50周年を迎えられ、誠におめでとうございます。校友会もおかげさまで設立45周年に至り、その記念事業といたしましてこの1年間、「大阪産業大学は新たな一歩をふみだします」というキャッチフレーズで、大学と共に交通広告で開学50周年のアピールを展開してまいりました。

この少子化の時代、どの大学も受験生を集めるためにさまざまな工夫を重ねています。今回の広告キャンペーンは開学50周年をお祝いし、大学が新しい時代へふみだすための初の試みです。校友会としては今後も大学をアピールするためのこうした支援を惜しみなく行ってゆきたいと考えております。

開学50周年の次には、学園創立90周年があり、校友会も50周年を控えております。これまで学園を取り巻くいろいろな問題もありましたが、新しい局面に向かって心機一転、教職員、後援会、校友会が一丸となり、大学、学生を盛り立ててゆくことが大切と考えております。開学50年の先には80周年、100周年と目標は永遠に続きますが、まずは常に新鮮な気持ちで、共に目の前の一歩を着実にふみだしてまいりたいと思います。

学生の個性、 大学の特色を伸ばしていく教育を。



大阪産業大学
後援会
会長 駒下 英明

開学50周年おめでとうございます。少子化がすすみ、また多くの大学が乱立し、互いに競い合っている今日にあって、栄えある開学50周年を迎えられたことは、大学教職員の皆様の並々ならぬご努力の賜物として感謝申し上げます。

本学は産業大学という名称の通り、一般の大学とは違う特色を備えた学部を有しています。その特色をさらに伸ばしていただくことを切に願っております。また、産官との連携を強化していただければ、学生たちの活躍の場が広がるだけでなく、受験生のモチベーションアップにも繋がってまいります。

そのためには、学生たちの個性を伸ばす教育、突飛であっても学生たちの発想に真摯に耳を傾けていただける学びの環境を整えていただければと切に願います。さらに、学外に向けて先端技術をアピールする「プロジェクト共育」にも力を注いでいただきたいと思います。

今後も後援会として大学の発展のため、学生たちの飛躍のために、惜しみない援助を続けてまいります。本学の100年、200年の歴史を共に築いていけることを願って、お祝いの言葉とさせていただきます。



50周年ロゴマーク制定

学内・学外問わず広く大阪産業大学の50周年をお祝いいただきたく50とOSUマークをセットしたロゴマークを制定しました。

公式キャラクター制定

以前から親しみのある「みらいくん」「ゆめちゃん」が、開学50周年を機に、大学公式キャラクターとなりました。

●キャラクターの由来

公式キャラクターとなった「みらいくん」「ゆめちゃん」は、本館正面玄関に建立されている本学のシンボル、ライオン像が由来。一対のライオン像は、「阿吽(あうん)」を表現しており、出入りを重ねることによって智や徳を積み重ねていくという意味をもっています。



学内公募により記念Tシャツを作製

この企画は金澤学長の提案で実現しました。開学50周年を大きなステップにして「みんながひとつになり、新たな大学を創出していこう」という気持ちを「見える化」することが目的です。在学生、教職員から応募があり、教職員による投票の結果、デザイン工学部の学生の案が選ばれました。50周年記念行事だけでなく、オープンキャンパスなどさまざまなイベントでスタッフが着用。大産大の変革の意気込みを全員が胸に刻んでアピールします。



等身大 着ぐるみ みらいくん誕生!

大学公式キャラクターとなった「みらいくん」が等身大の着ぐるみで誕生しました。50周年記念イベントやオープンキャンパスなどで活躍します。



顔出し看板を作製!!

大阪産業大学後援会より「みらいくん」「ゆめちゃん」の顔出し看板を作製、寄贈していただきました。

大学公式Webサイトをリニューアル

大学公式Webサイトをリニューアルしました。トップページでは、創立記念日の11月1日(日)まで、在学生や教職員にご協力いただき日替わりでカウントダウン写真を掲載しました。



大阪産業大学
改革への想い

日本の伝統力をアイデンティティに 偉大なる平凡人たれ



■アイデンティティは和の心に通じる

かつて日本の教育は「知育」「德育」「体育」の3本柱を基本としてきました。ところが、戦後教育は西洋の知の修得に熱心なあまり、教育のバランスを失い「和の心」をないがしろにしてきたのではないのでしょうか。

私は還暦を前に合気道を始め、そこから「和の心」を学びました。例えば、昔の人たちは5、60キロもある米俵をひょいっと持ち上げたりしました。現代人は腕の筋肉だけを使って物を持ち上げようとするため、なかなか持ちあげられません。しかし昔の人は上腕筋、胸筋、腹筋、背筋…全身の筋肉を使い、力とは総合力であることを知っていました。

教育も同じです。知識だけ増やしても人間性の豊かさは身につきません。芸術を理解する感性、体を使う身体論…総合的な人間力を養うことこそ「学びの心」なのです。

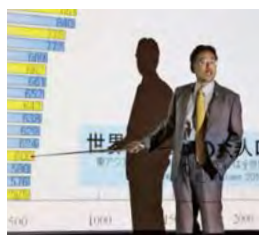
日本はこれからますます多文化国家に変わっていきます。文化がグローバル化すればするほど、アイデンティティをしっかり持っていないければ自分を見失ってしまいます。

「偉大なる平凡人たれ」とは、本学の創立者・瀬島源三郎の言葉です。自分の地位や名誉を求めるのではなく社会に役立つことがほんとうの生きがいであり、自分だけが偉大であるような人間にはなるな、との戒め。本学のアイデンティティです。学生のみならず教職員を含め、私たちは80周年、100周年と「偉大なる平凡人」への道を歩んでゆきたいと思っています。

地域の皆様へ感謝を込めて6回の記念イベントほか、さまざまなイベントを開催。

●第1回記念イベント

「大阪府の地域力」をテーマに、藻谷浩介氏をお招きして講演会を実施



本館1階多目的ホールで6月16日(火)に藻谷浩介氏の学術講演会が開催され、多くの来場者で賑わいました。藻谷氏は、イメージや空気に流されることなく、常にデータや数字に基づいて判断する姿勢の大切さや、大阪という世界最大級の規模を持った都市が真の国際都市となるための戦略、さらに、「高齢者の増加と現役世代の減少」という課題を解決するためなどについて、豊富な資料を示しながらわかりやすく説明。講演会終了後も、地元の方々からの質問に丁寧に答えてくださいました。

●第2回記念イベント

「おさかなから見た水と環境のお話」をテーマに、さかなクン講演会を実施

本館1階多目的ホールで7月7日(火)に東京海洋大学名誉博士のさかなクンをお迎えし学術講演会を実施。七夕の日でもあったことから「七夕魚」や「サツキマス」「タツノオシゴ」など、絵描きクイズや、テレビでおなじみの「ギョギョギョ」発言など、終始会場を盛り上げながら、水と環境に関わる問題について講演いただきました。



●第3回記念イベント

「スポーツ活動を安全に行うために～脳しんどうから身を守る」をテーマに、シンポジウムを10月27日(火)に実施しました

●第4回記念イベント【11月17日(火)】 場所:多目的ホール 「身の周りの小さなエネルギーを利用して電気を生み出す社会」をテーマに、講演会を実施します

●第5回記念イベント【12月8日(火)】 場所:多目的ホール 関西フィルハーモニー管弦楽団演奏会を実施します

●第6回記念イベント【12月15日(火)】 場所:多目的ホール 「命の授業」をテーマにゴルゴ松本さんをお招きして講演会を実施します

第4～6回
記念イベントを
聴講希望される方は
本学Webサイトを
ご覧ください。

「孔子学院の日」記念イベント

二胡演奏会を実施しました

9月21日(月・祝)、午後1時30分から大阪国際交流センターにおいて、大阪産業大学孔子学院主催(大阪交流センター共催、大阪産業大学協力)の「孔子学院の日」記念の二胡演奏会が開催されました。「孔子学院の日」とは、2004年に大韓民国ソウル市に海外で初めての孔子学院が設立されてから10年目の2014年に制定された記念日で、毎年9月27日と指定されています。今年は第2回に当たり、世界各地の孔子学院・孔子課堂で記念行事が行われています。

今回の記念演奏会の演奏者には、元女子十二楽坊のメンバーで、二胡演奏の第一人者である霍暎君さんをお迎えしました。ピアノ伴奏(山田みどりさん)との二胡アンサンブルで、「蘇州夜曲」、「チャールダッシュ」、「菊花台」など、幅広い楽曲11曲が演奏されました。400人の聴衆の熱烈的アンコールに応じて「賽馬」が最後に演奏され、会場は二胡の豊かな音色に包まれました。



50周年を記念して50食限定 50円朝食を実施

「喫茶四国」、「おくだ食堂」において、2週間限定で50円朝食が実施されました。各食堂50食限定ということもあり朝から行列ができるほど大盛況でした。



「古本募金」をはじめます!! ご協力ください

卒業生、教職員、在校生、保護者の方々からお送りいただいた本などの買い取り金額を寄付金とさせていただきますことになりました。集まった寄付金は100円朝食など学生支援に使用する予定です。詳しくは大阪産業大学Webサイトをご覧ください。

吹奏楽部が 50周年記念演奏会を開催

6月21日(日)、大学開学50周年事業の一貫として、大学の吹奏楽部が大東市立総合文化センター(サーティホール)大ホールにて、第31回定期演奏会を行いました。1、2、3部で雰囲気が違った曲が演奏され多くの来場者を楽しんでいただけました。



1928(昭和3)年 ● 大阪産業大学の前身、「大阪鉄道学校」を創立。



大阪鉄道学校創立者
瀨島源三郎



創立者 瀨島源三郎が
大阪市北区菟我野町に
大阪鉄道学校を設立



旧古市校舎

1928

昭和3年

1965(昭和40)年 ● 「大阪交通大学」から「大阪産業大学」に改称。



全景(昭和40年)

経営学部を経営学科、工学部に機械工学科と交通機械工学科が開設。4年制大学として新たな一歩をふみ出し校地の拡大も進められました。



当時としては洒落た
外観で注目を集めた
6号館。



6号館竣工

1965

昭和40年

1967(昭和42)年 ● 6号館竣工。

1975(昭和50)年 ● 総合体育館竣工。



総合図書館開館



総合体育館

1975

昭和50年

1981(昭和56)年 ● 収容能力40万冊を誇る「総合図書館」が竣工。



平成4年に取り壊されるまで
本学の象徴的存在 1号館



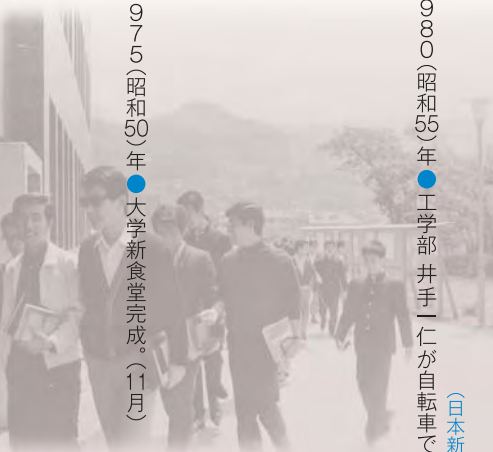
2号館

1967(昭和42)年 ● 自動車整備士養成施設の認定。



自動車整備実習風景

1975(昭和50)年 ● 大学新食堂完成。(11月)



1980(昭和55)年 ● 工学部 井手一仁が自転車で日本縦断2800km。(7月)
(日本新記録 7日19時間26分)

大学開学50年、向学の志を高く掲げ

2001(平成13)年 ●最先端研究施設が建ち並ぶ東部キャンパスに15号館竣工。



15号館竣工(平成13年)

1995(平成7)年 ●経営学部「流通学科」(後の商学科)が増設。

1995(平成7)年 ●「経営学部」が入る14号館竣工。



1993(平成5)年 ●大学・短期大学部学生数1万人突破。



西部キャンパス



13号館竣工(平成2年)

工学部に「情報システム工学科」と「環境デザイン学科」(後の建築・環境デザイン学科)を増設。

1990(平成2)年 ●13号館竣工。



学園創立60周年記念式典

1986(昭和61)年 ●11号館(本館)竣工。経済学部開設。



11号館(本館)竣工

学園創立60周年・大学開学20周年事業の一環として11号館(本館)竣工。



10号館竣工

1984(昭和59)年 ●10号館竣工。

(後の電子情報通信工学科)

1984(昭和59)年 ●工学部に「電気電子工学科」増設。



電気電子工学科の実験実習

1985
昭和60年

1989
平成元年

1995
平成7年

2001(平成13)年 ●学内ベンチャー企業3社設立。

2000(平成12)年 ●御堂筋バレードでフロート巡航、創造賞を受賞。(10月)

2000(平成12)年 ●梅田サテライト・キャンパスがスタート。(4月)

1998(平成10)年 ●昭和63年に始まった国際協力基本協定が10カ国・24大学へと拡大。



御堂筋バレード参加



国際協力基本協定調印
(ヴェルツブルグ大学との調印)

大学設置・学校法人審議会
設置分科会実施調査(大学院)



1988(昭和63)年 ●大学院(修士課程)設置認可。(3月)

1987(昭和62)年 ●大阪産業大学市民講座スタート。(6月)



市民講座開講

て。

2001(平成13)年 ● 中央キャンパスに「人間環境学部」が入る16号館竣工。



15号館竣工(平成13年)



16号館竣工(平成13年)

2008(平成20)年 ● 人間環境学部「スポーツ健康学科」増設。



Wellness 2008竣工(平成20年)

スポーツ健康学科の拠点となる「Wellness2008」竣工。



2012(平成24)年 ● 関西初のデザイン工学部が誕生。

デザイン工学部が誕生し、「情報システム学科」「建築・環境デザイン学科」開設。



デザイン工学部が誕生



大学開学50周年まで365日

2005
平成17年

2015
平成27年

設立された学内ベンチャー企業は「OSUテクノロジー」、「OSUデジタルメディアファクトリー」、「ロバスト・エンジニアリング」の3社。

2002(平成14)年 ● 産学官連携で産業活性化を、「三者連携基本協定」を締結。(2月)

本学と大東市、大東商工会議所との大東市産業活性化を目指した協定を結んだ。



産学官三者連携基本協定を締結

2006(平成18)年 ● 「開学40周年記念OSU国際シンポジウム」開催(2月)

2006(平成18)年 ● 大阪産業大学新ロゴマークが誕生。(4月)

2007(平成19)年 ● 大産大オキシライドプロジェクトでギネスに挑戦し世界記録に認定。



オキシライドレーサー
ギネス世界記録

大産大オキシライドプロジェクトとは単3乾電池のみで時速100キロを超える電池自動車を作製。この模様はパナソニックオキシライド乾電池のCMとして放映された。

2010(平成22)年 ● ソーラーカーレースで、2年連続5度目の総合優勝に輝く。

ソーラーカープロジェクト「OSU大阪産業大学」は「DREAM CUPソーラーカーレース鈴鹿2010」にて2年連続5度目の総合優勝に輝いた。



2012(平成24)年 ● 「文部科学大臣へ表敬訪問」、「文部科学省との共催企画イベント」を実施。(1月)

本学開発の燃料電池車「OSU-T4」が公道走行に成功しその評価により「文部科学大臣への表敬訪問」および「文部科学省との共催による企画イベント」が実施された。



燃料電池車「OSU-T4」が公道走行に成功

2015(平成27)年 ● 大阪産業大学開学50周年を迎える。(11月)



学生・教職員みんなが「一丸」となって、365枚のフォト・カウントダウンに取り組みました。



2015年、 開学50周年を迎えました。

大阪産業大学はおかげさまで開学50周年を迎えることができました。

これまでに9万人近い卒業生を送り出し、全員がさまざまなカタチで社会に、産業界に大きな実績を積み重ねています。

今後も本学は確かなビジョンと豊かな発想を備えた次代の産業人を育成してまいりますので、

これからもよろしくご指導ご支援くださいますようお願いいたします。



50th Anniversary
OSAKA SANGYO UNIVERSITY